

東日本大震災津波による被災者を対象とした健康支援活動について

市町村名 大船渡市

1 平成 23 年度の取組み状況について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施状況について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	実施回数等	参加人数等	主 な 内 容
全戸訪問 (ローラー訪問)	23年3月～ 23年5月	1回/年	28,000人	全国より派遣された保健チームと当市の保健師・看護師とで調査を実施。その後、秋田県能代市の支援を受けて、データベース化した。障がい者(児)、要介護・要支援認定者(介護保険法)、高齢者、乳幼児、妊産婦、医療を必要とする市民の把握を行った。
健康相談	23年4月～ 24年3月	不明	不明	被災後より避難所において、巡回健康相談を実施した。仮設住宅へ入居してからは、集会所・談話室において、サロン「お茶っこ会」を岩手医療生協の協力を得て5か所実施。岡山県チームの協力を得て1か所実施。甲賀市・奥州市の協力を得て5か所実施した。それぞれ相談とお茶を飲みながら、体操やレクリエーションやミニ講話を行った。支援チーム撤退と共に8～10月には、大船渡市社会福祉協議会の生活支援相談員による「陽だまりの会」サロンへ移行した。 また、被災地健康相談支援事業により県から委託された予防医学協会看護師等に9月～18か所の仮設団地を巡回健康相談していただいた。
栄養相談	23年6月～ 24年2月	回	171人	6/7～6/22・2/15～2/29の期間(社)日本栄養士会並びに(社)岩手県栄養士会へ依頼し、巡回栄養相談を実施。
健康・栄養教室	23年4月～ 24年3月	回	人	被災後より避難所において健康教室を実施。仮設住宅入居後は、集会所及び談話室において実施してきた。テーマは、多岐に亘る。初期は、感染症予防が主であった。 2月～3月当市の栄養士による「応急仮設住宅における食生活改善料理教室」を10回192人実施した。
健康状態調査	23年5月～ 24年3月	1回	5,275人	応急仮設住宅、既存住宅利用者及び民間借り上げ制度利用者の健康ニーズを把握し、必要な支援を受けられるよう実施。1世帯1シート記入してもらい、支援の保健チーム及び当市の保健師が訪問し聞き取りを行った。

栄養・食生活 支援基礎調 査	23年8月29日 ～11月16日	1回	600人	望ましい食生活の確保及び栄養・食生活改善に支援することを目的に、健康状況、食生活状況及び食事内容の聞き取りを行った。結果は、集計後公表した。この結果に基づき強化米、リーフレット等を配布し食生活の改善を図った。
----------------------	---------------------	----	------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 市町村の通常業務として実施している次の事業の実施状況について、記載してください。

	実施時期	実施内容等
予防接種	23年4月～24年3月	医療機関において個別接種を実施。集団接種は、DT(2期)と秋のポリオと日本脳炎を実施。春のポリオは中止。市外にいる乳幼児へは、依頼書を発行。
乳児健診	23年4月～24年3月	医療機関において1・4・10か月児健診を実施。市外にいる乳児へは、依頼書を発行。
特定健診 特定保健指導	23年10月～23年11月 24年3月～	23年度は、肺がん検診・結核検診も特定健診と同時実施。 保健指導は、現在実施中。
後期高齢者健康診査	23年10月～23年11月	例年通り、特定健診と同時実施。
成人病検診 (がん検診、女性健診、 結核検診等)	23年9月～24年2月	当初の計画を大幅に変更し実施。人間ドックのみ実施せず。
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教 室等)	23年12月～24年3月	当初の計画を大幅に変更し、健康運動教室・体すっきり！スマート教室(栄養講話・運動)・はつらつ教室を実施。
地区健康相談	24年1月～24年3月	地区別健康教室「体すっきり！スマート教室」と同時に健康相談を実施。
保健推進委員・食生活改 善推進員の養成・育成	23年11月～24年3月	健康づくり推進員(保健推進委員)は、23年度委嘱せず。 食生活改善推進員の養成は、実施せず。育成は、当初の計画を大幅に変更し、11月から講習会等実施。 運動普及推進員の養成は実施せず。育成は、当初の計画を大幅に変更し、11月から講習会等実施。

2 平成24年度の取組み予定について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施予定について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	主な内容(実施回数、実施内容等)
全戸訪問 (ローラー訪問)	24年 月～25年3月	全戸訪問は、マンパワー等考慮し縮小して実施予定。内容・実施時期等これから検討して実施する。
健康相談	24年4月～25年3月	仮設の集会所・談話室にて月1～4回、大船渡市社会福祉協議会の生活支援相談員による「陽だまりの会」サロンや県より委託されている予防医学協会の健康相談支援事業にて健康相談を実施予定。
栄養相談		「陽だまりの会」サロンと同時開催予定。

栄養相談	24年5月～25年3月	「陽だまりの会」サロンと同時開催予定。
健康・栄養教室	24年4月～25年3月	閉じこもりや食生活改善を目的とした会食等を実施予定。県より委託されている予防医学協会の健康相談支援事業等利用して健康教室等を実施予定。
訪問による栄養指導	24年5月～25年3月	前年度より継続して要指導者等の訪問指導を実施予定。栄養アセスメントにより、平成24年度要指導者を把握予定。

(2) 市町村の通常事業として実施している次の事業の実施予定について、記載してください。

	実施時期	課題等
予防接種	24年4月～25年3月	ポリオ予防接種の不活化ワクチン導入に向けて、準備のためのマンパワー不足。
乳児健診	24年4月～25年3月	10か月児健診の受診率(80%台)が低い。1・4か月児健診は、90%台。
特定健診・特定保健指導	24年4月～25年3月	特定健診の受診率が低い。
後期高齢者健康診査	24年10月～24年12月	健診の受診率が低い。
成人病検診 (がん検診、女性健診、結核検診等)	24年4月～25年1月	受診票を対象者へ通知しているが、所在が不明で、戻ってきている。精密検査を実施できる医療機関が、限られるので、要精密検査の通知の送付後速やかに検査が受けられない。
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教室等)	24年4月～25年3月	震災前のおり事業を実施しようとする、保健師が1名減となっており、マンパワーが不足している。
地区健康相談	24年5月～25年3月	地域公民館が津波により流出している所があり、集まる場所が近くない。
保健推進委員・食生活改善推進員の養成・育成	24年4月～25年3月	健康づくり推進員(保健推進委員)を145行政区より選出してもらっているが、現在8行政区が未決定で、7行政区が津波の影響で解散若しくは活動を休止している。 また、地域の活動をするにしても地域公民館が津波で流出しており、地域で健康づくり推進員が活動できる場所がない。

3 被災者に係る健康課題について

- (1) 保健活動を通じて、被災者が健康面で一番困っていること、悩んでいること等、課題と感じていることについて記載してください。

応急仮設住宅入居者は、仮設団地毎に仮設支援員が配置されており、見回りや相談等できる状況にある。また、大船渡市社会福祉協議会の生活支援相談員が定期的に訪問しており、健康面で困っていることは、保健師へ相談がある。その相談内容は、多種多様であり、個別で対応が必要な案件が多い。しかし、在宅被災者や見なし仮設入居者は、さまざまな情報が届きにくく、保健師も健康状態等把握が不十分な状況にある。

- (2) 被災者に係る健康面の課題について、市町村としてどのように支援しようとしているか、またその支援について、支障となっていると思われることについて記載してください。

大船渡市社会福祉協議会の生活支援相談員にも協力してもらい、見回り等してもらおうよう連携を図る。保健衛生部門の保健師は、業務分担制と地区担当制で仕事をしているが、通常業務と被災者支援の両方を実施するには、マンパワーが不足している。今年度は、実質保健師1名減で、1名新採用(保健師経験なし)・臨時や非常勤で2名保健師(保健師経験なし)を雇用したが、本格活動するまでにもう少し時間がかかる。

4 応急仮設住宅入居者等の全戸訪問、栄養指導について

応急仮設住宅入居者等への全戸訪問、栄養指導等のために、保健師、栄養士等の派遣協力を希望する時期、必要人数について記載してください。

事業名	職 種	時 期	必要人数
応急仮設住宅入居者等の全戸訪問	保健師・看護師等	未定	5人
応急仮設住宅入居者等への栄養指導	保健事業及び医療機関において個別指導の経験のある管理栄養士	未定	2人
その他(特定健康診査等)	経験のある保健師・看護師	5月～3月	3人

5 平成24年度に実施予定の被災地健康支援事業のうち、県の予算措置を希望する事業について

平成24年4月13日付け健第139号で通知した平成24年東日本大震災津波被災地健康支援事業費補助交付申請の対象事業(被災地における健康支援に係る保健師等人材確保支援事業、被災者特別健診等補助事業、健診受診環境整備補助事業)以外で、被災者の健康支援のために実施予定の事業のうち、県からの補助等を希望する事業について記載してください。

なお、事業の選定にあたっては、別添「介護基盤緊急整備等臨時特例基金管理運営要領(平成23年12月2日付け健発1202第3号及び老発1202第1号厚生労働省健康局長及び老健局長通知)の別記3『被災地健康支援事業』を参考としてください。

事業名	事業の概要	事業費(概算)	
		総 額	経費の内訳(節)

- ※1 貴市町村の予算措置の有無にかかわらず、取組予定のある場合は記載願います。
- ※2 県の予算措置の検討を行いますので、事業費(概算)、事業概要は必ず記載願います。
- ※3 「事業概要」欄には、実施予定時期を記載願います。

東日本大震災津波による被災者を対象とした健康支援活動について

市町村名 陸前高田市

1 平成 23 年度の取組み状況について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施状況について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	実施回数等	参加人数等	主な内容
全戸訪問 (ローラー訪問)	H23年4月～ H23年12月	3回/年	19422人(1回目) 2000世帯(2回目) 603世帯(3回目)	1回目は、全市民対象とし、所在や健康状態を確認し、緊急対応につなげた。2回目は、仮設住宅訪問。3回目は、個人宅避難者及び、応急修理宅訪問。
健康相談	H23年6月～ H24年3月	591回	14165人	避難所及び仮設住宅サロンで実施。
栄養相談	H23年6月～ H24年3月 随時	40回	54人	保健師、相談員より栄養に関する要援護者につないでもらい個別訪問。内容は病態別、離乳食のすすめ方、介護食。
健康教室	H23年9月～ H24年3月	96回	2038人	仮設住宅サロンでの実施。市保健師及び県被災地支援事業の他、保健支援チームによる実施を含む。内容は、感染症や熱中症、運動など。
栄養教室	H23年7月～ H24年3月 随時	3回	51人	サロン等で低栄養予防、減塩などお話しした。
キッチンカーによる栄養教室	H23年9月～ 10月 (9/28～10/7)	16回	参加者 545人 食改員 93人	キッチンカーというイベント的な事業を通して、楽しみながら行える栄養教室を開催。食改員の再スタートとなる事業でもあった。
男の料理教室	H23年12月～ H24年3月	8回	55人	きっかけは男性の調理技術を上げる目的が主だったが、次第に男性の居場所作りのほうが大きくなった。

(2) 市町村の通常業務として実施している次の事業の実施状況について、記載してください。

	実施時期	実施内容等
予防接種	H23年6月～ H24年3月	医療機関が被災したことにより、集団接種で、日程を設定し予約制として実施
乳児健診	H23年4月～ H24年3月	1・4・10か月児健診は医療機関で個別健診、1歳6か月、2歳6か月、3歳6か月児健診は集団で6月から実施再開。
特定健診・特定保健指導	H23年10月～ H24年2月	特定健診は被災者健診として基本的な項目・詳細項目を実施、受診者数2563人。特定保健指導は実施せず。
後期高齢者健康診査	H23年10月～ H24年2月	上記特定健診と同時実施。受診者数1078人。
成人病検診 (がん検診、女性健診、結核検診等)	H23年10月～ H24年2月	肺がん、結核検診は被災者健診と同時実施。婦人検診は、乳がんの視触診を無くし、マンモのみの検診とした。胃がん、大腸がん検診は見合わせとなった。
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教室等)	H23年8月～ H24年2月	地区健康教室は、依頼があった場合のみ対応。
地区健康相談	H23年7月～ H24年3月	公民館行事や介護予防教室に合わせて、血圧測定などを実施。
保健推進委員の養成・育成	年 月～ 年 月	委嘱せず。
栄養教室	H24年2月～ 年 月	被災を受けていない地区の公民館より依頼があり対応。生活習慣病予防について(実習含み)参加者17名
食生活改善推進員協議会	H23年8月～ H24年3月	食改協の再構築。会員の安否の確認と名簿の整理。キッチンカー事業への協力。随時役員会を開催し、今後の事業計画を立てた。

2 平成 24 年度の取組み予定について

- (1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施予定について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	主な内容 (実施回数、実施内容等)
全戸訪問 (ローラー訪問)	年 月～ 年 月	未定
健康相談	通年 年 月～ 年 月	被災地健康相談支援事業の利用の他、保健師、巡回健康相談によるサロンでの健康相談。
栄養相談	H24 年 4 月～ H25 年 3 月 通年	サロンや、健康相談時に保健師や巡回健康相談員と同行し個別にリーフレット等を利用し栄養相談する。
健康教室	通年 年 月～ 年 月	仮設サロンでの健康教室実施。
栄養教室	H24 年 4 月～ H25 年 3 月 通年	サロンでの集団栄養指導を行う。27 箇所。(栄養士を県の被災地支援事業を利用。派遣依頼済み) 単独で栄養教室 (実習含み) 要請があれば、対応する。

- (2) 市町村の通常事業として実施している次の事業の実施予定について、記載してください。

	実施時期	課題等
予防接種	H24 年 4 月～ H25 年 3 月	任意の予防接種が入ってきたことにより、個別接種が望ましいが接種できる医療機関不足と医療スタッフの不足
乳児健診	H24 年 4 月～ H25 年 3 月	スタッフ (保健師) 不足、一関市から 2 名の派遣 医師は岩手県医師会より派遣
特定健診・特定保健指導	H24 年 10 月～ H24 年 12 月	特定保健指導を実施できる保健師などのスタッフ不足
後期高齢者健康診査	H24 年 10 月～ H24 年 12 月	
成人病検診 (がん検診、女性健診、結核検診等)	H24 年 7 月～ H24 年 12 月	要精密検査対象者の受け入れ先不足
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教室等)	随時 年 月～ 年 月	
地区健康相談	随時 年 月～ 年 月	
保健推進委員の養成・育成	24 年 5 月～25 年 3 月	昨年度は委嘱せず。今年度はできるだけ地域との連携を図ることを主に対処していく。

食生活改善推進員協議会	通年	今年度は養成は行わず、育成事業のみ。課題は調理実習を行える場所の確保。会員の意欲を高めさせること。
離乳食教室	H24年6月～ H25年2月（年5回）	離乳食の遅れと知識不足が散見されることから、今年度再開の事業となる。課題は場所の確保。栄養士のスキルアップ。震災後の再開事業なので、教材、調理器具等の準備が必要。
男性の料理教室	H24年5月～ H25年3月（年9回）	男性の生活支援と居場所作りが目的。課題は教室の場所の確保。松原苑に委託する事業なので、市と松原苑との連絡調整が必要。

3 被災者に係る健康課題について

- (1) 保健活動を通じて、被災者が健康面で一番困っていること、悩んでいること等、課題と感じていることについて記載してください。

例として、仮設住宅に住んでいる老夫婦の夫から妻が倒れたので救急車を呼んでほしいと言われた隣人が、消防署からその倒れた人の状態を聴かれたが、年齢、電話番号や受診状況など夫も耳が遠く聞いても訳がわからず困惑したことがあった。結果、低血糖で倒れたようであるが、このようなケースは少なくないわけで、緊急時のときなどプライベートな部分の情報を近所に知らせる方法や知っておいてもらう方法など個人情報の問題はあるが特に高齢者世帯についての対応が課題である。

- (2) 被災者に係る健康面の課題について、市町村としてどのように支援しようとしているか、またその支援について、支障となっていると思われることについて記載してください。

1点目は、仮設住宅入居後の時間経過による体調管理サポート（食生活改善、血圧測定など）、2点目は、住環境の変化に対応したサポート（サロン活動等のコミュニティ形成、育成など）、3点目は、自立に向けた将来展望の見える復興計画の早期実現（閉塞感を取り除き精神的な面で個々に明るい将来設計・希望が持てる体制づくり）、4点目としては、市外長期避難者の健康支援対策があげられる。

4 応急仮設住宅入居者等の全戸訪問、栄養指導について

応急仮設住宅入居者等への全戸訪問、栄養指導等のために、保健師、栄養士等の派遣協力を希望する時期、必要人数について記載してください。

事業名	職 種	時 期	必要人数
応急仮設住宅入居者等の全戸訪問	保健師	未定（対応協議中）	30人程度？
応急仮設住宅入居者等への栄養指導 サロンでの栄養教室	栄養士	通年	21箇所 （依頼済み）
その他（特定健康診査等） ・特定保健指導の実施	保健師	2月以降	4人程度

5 平成 24 年度に実施予定の被災地健康支援事業のうち、県の予算措置を希望する事業について

平成 24 年 4 月 13 日付け健第 139 号で通知した平成 24 年東日本大震災津波被災地健康支援事業費補助交付申請の対象事業（被災地における健康支援に係る保健師等人材確保支援事業、被災者特別健診等補助事業、健診受診環境整備補助事業）以外で、被災者の健康支援のために実施予定の事業のうち、県からの補助等を希望する事業について記載してください。

なお、事業の選定にあたっては、別添「介護基盤緊急整備等臨時特例基金管理運営要領（平成 23 年 12 月 2 日付け健発 1202 第 3 号及び老発 1202 第 1 号厚生労働省健康局長及び老健局長通知）の別記 3『被災地健康支援事業』を参考としてください。

事業名	事業の概要	事業費（概算）	
		総 額	経費の内訳（節）

- ※ 1 貴市町村の予算措置の有無にかかわらず、取組予定のある場合は記載願います。
- ※ 2 県の予算措置の検討を行いますので、事業費（概算）、事業概要は必ず記載願います。
- ※ 3 「事業概要」欄には、実施予定時期を記載願います。

東日本大震災津波による被災者を対象とした健康支援活動について

市町村名 釜石市

1 平成 23 年度の取組み状況について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施状況について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	実施回数等	参加人数等	主な内容
全戸訪問 (ローラー訪問)	24年2月～ 24年3月	1回/年	約4,000世帯	「釜石市こころに関する健康調査」(アンケート)実施。 被災地区の仮設住宅・みなし仮設で実施
健康相談	① 23年10月～24年3月 ② 23年7月～24年3月	① 178回 ② 43回	① 657人 ② 401人	① 県委託の予防医学協会実施 ② 生活応援センター保健師実施
栄養相談	23年7月～ 23年8月	15回	約1,200人	・日本栄養士会、岩手県栄養士会の協力にて巡回相談実施。
健康・栄養教室	① 23年7月～24年3月 ② 24年2月	① 栄養教室 28回 ② 健康教育 2回	① 275人 ② 21人	① 「簡単料理教室」 「心も体も満足教室」 ② 生活応援センター保健師実施
※その他事業について追記願います。	年 月～ 年 月	回	人	
	年 月～ 年 月	回	人	
	年 月～ 年 月	回	人	

(2) 市町村の通常業務として実施している次の事業の実施状況について、記載してください。

	実施時期	実施内容等
予防接種	23年4月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・個別接種は通常通り実施した。 ・集団接種は、6月から再開。保健所を会場借用した。9月から通常通り実施。
乳児健診	23年4月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・個別健診は通常通り実施した。 ・集団健診は、6月から再開。保健所を会場借用した。9月から通常通り実施。
特定健診・特定保健指導	23年10月24日～31日 23年12月5日～22日	<ul style="list-style-type: none"> ・10月28日～31日は、被災者健診も同時実施。 ・被災により会場数が減少した。 ・特定保健指導は未実施。
後期高齢者健康診査	同上	・同上
成人病検診 (がん検診、女性健診、 結核検診等)	23年8月～23年12月	<ul style="list-style-type: none"> ・通常5月開始を8月末開始で実施。 ・後半に集中実施とし、被災により会場数が減少した。
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教 室等)	23年7月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教室：5回/98人 ・食育事業：3回/103人 ・もぐもぐごっくん教室 ・パパママ準備教室 ・生活応援センター実施： 62回/214人
地区健康相談	23年5月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・生活応援センター保健師が実施 ・約90回/延べ140人位
保健推進委員・食生活改 善推進員の養成・育成	23年9月～ 年 月	<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健推進員：委嘱状交付式実施 研修会は1回実施 ・食生活改善推進員：研修会、事業実施(調理実習への参加)、養成事業は未実施。
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

2 平成 24 年度の取組み予定について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施予定について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	主な内容（実施回数、実施内容等）
全戸訪問 (ローラー訪問)	24年9月～25年2月	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は市内全地区の仮設・みなし仮設入居者対象に健康調査を実施予定。(1～2回/年) ・実施回数については検討中
健康相談	24年4月～25年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・仮設は、予防医学協会が主に実施。 ・生活応援センター保健師も実施予定。
栄養相談	24年4月～25年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・生活応援センター保健師が対応し、必要時、栄養士と調整し対応する。
健康・栄養教室	24年4月～25年3月	<ol style="list-style-type: none"> ① 食生活改善事業「満点笑顔教室」を、市内4会場で実施。月1回×3コース/4会場。 ② 生活応援センター保健師による健康教室開催。
※その他事業 について追記 願います。	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

(2) 市町村の通常事業として実施している次の事業の実施予定について、記載してください。

	実施時期	課題等
予防接種	24年4月～25年3月	・不活化ポリオの実施方法の検討が必要。(集団接種か個別接種かを含む) ・財源も問題。
乳児健診	24年4月～25年3月	・震災後、地区担当保健師による健診後のフォローが難しい状況の為、地区との連携体制の再検討が必要 (当面、役割分担で実施)
特定健診・特定保健指導	① 24年7月～8月 ② 11月1日、2日	・①特定健診と②被災者健診の日程を分けて実施予定の為、受診者の混乱をきたさぬよう周知徹底する。 ・特定保健指導は予防医学協会に委託予定。
後期高齢者健康診査	③ 24年7月～8月 ④ 11月1日、2日	・①特定健診と②被災者健診の日程を分けて実施予定の為、受診者の混乱をきたさぬよう周知徹底する。
成人病検診 (がん検診、女性健診、結核検診等)	24年5月～24年12月	・受診者が受診しやすい態勢作りに努め、受診率の向上を目指す。
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教室等)	24年4月～25年3月	・通常の地区開催に仮設入居者も一緒に参加する地区もあり、効率的な事業実施を検討していく。(地域により実情が異なるため)
地区健康相談	24年4月～25年3月	・予防医学協会との連携を深め効率的な実施に向けた役割分担を行う。 ・市の保健師は主に、仮設以外の会場で実施する。
保健推進委員・食生活改善推進員の養成・育成	24年4月～25年3月	・今年度は、保健栄養教室を実施予定だが、開催会場の確保が必要。 ・母子保健推進員の約半数が被災し仮設住まいになり、地区での活動が困難となる等、活動が制限されている。

3 被災者に係る健康課題について

(1) 保健活動を通じて、被災者が健康面で一番困っていること、悩んでいること等、課題と感じていることについて記載してください。

・時間の経過とともに、被災者の悩みが多様になっている。生活再建が第一と思われます。
・生活支援相談員や連絡支援員の配置で、重層的な関わりが出来つつあるが、訪問回数が増えたことで、支援や調査等を拒否する方もいる。

(2) 被災者に係る健康面の課題について、市町村としてどのように支援しようとしているか、またその支援について、支障となっていると思われることについて記載してください。

・体調不良者や自殺が心配な方等、ハイリスクと思われる方々への支援体制が、大分整ってきてはいるが、個人や家庭を取り囲む支援者が多職種になってきたことから、関係機関それぞれの職員の役割分担を明確にし、可能な範囲で情報共有して行けるよう、統括的な役割を担うことも行政に求められてきている。
・個人情報取り扱いに注意しながらの活動が必要。

4 応急仮設住宅入居者等の全戸訪問、栄養指導について

応急仮設住宅入居者等への全戸訪問、栄養指導等のために、保健師、栄養士等の派遣協力を希望する時期、必要人数について記載してください。

事業名	職種	時期	必要人数
応急仮設住宅入居者等の全戸訪問	保健師 (看護師)	秋頃～25年2月	延べ180人位 1日10人～15人
応急仮設住宅入居者等への栄養指導			なし
その他(特定健康診査等)			未定(要検討事項)

5 平成24年度に実施予定の被災地健康支援事業のうち、県の予算措置を希望する事業について

平成24年4月13日付け健第139号で通知した平成24年東日本大震災津波被災地健康支援事業費補助交付申請の対象事業(被災地における健康支援に係る保健師等人材確保支援事業、被災者特別健診等補助事業、健診受診環境整備補助事業)以外で、被災者の健康支援のために実施予定の事業のうち、県からの補助等を希望する事業について記載してください。

なお、事業の選定にあたっては、別添「介護基盤緊急整備等臨時特例基金管理運営要領(平成23年12月2日付け健発1202第3号及び老発1202第1号厚生労働省健康局長及び老健局長通知)の別記3『被災地健康支援事業』を参考としてください。

事業名	事業の概要	事業費(概算)	
		総額	経費の内訳(節)
		千円	千円

※1 貴市町村の予算措置の有無にかかわらず、取組予定のある場合は記載願います。

※2 県の予算措置の検討を行いますので、事業費(概算)、事業概要は必ず記載願います。

※3 「事業概要」欄には、実施予定時期を記載願います。

東日本大震災津波による被災者を対象とした健康支援活動について

市町村名 大槌町

1 平成 23 年度の取組み状況について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施状況について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	実施回数等	参加人数等	主な内容
全戸訪問 (ローラー訪問)	23年5月～ 23年7月	2回/年	5498人	4/23～5/8まで全国の保健師による状況調査の実施。その後、6月～7月に町保健師による仮設住宅等の状況調査(全戸ではない)。
健康相談	23年9月～ 24年3月	342回	912人	予防協スタッフによる個別健康相談の実施。町保健師が同席しての集団指導も取り入れた。
栄養相談	23年7月～ 23年11月	回	2012世帯	保健所、日本栄養士会、県栄養士会の協力により、仮設住宅等を中心に栄養調査・相談を実施。普段の食生活について聞き取りし、必要に応じて指導した。
健康・栄養教室	23年10月～ 24年1月	8回	228人	栄養士・食生活改善推進員による調理実習や講話を交えた栄養教室の実施。
被災地口腔ケア推進事業	23年11月～ 24年2月	回	1730人	県歯科医師会の協力の下、歯科検診・口腔ケア指導等を実施。
	年 月～ 年 月	回	人	
	年 月～ 年 月	回	人	

(2) 市町村の通常業務として実施している次の事業の実施状況について、記載してください。

	実施時期	実施内容等
予防接種	23年4月～24年3月	BCGは4/24より実施。その他の定期予防接種も順次再開。 7月から子宮頸がん等予防ワクチン促進事業も開始。
乳児健診	23年6月～24年3月	4月、5月は中止。6/17より3歳児健診再開。1歳6か月児健診は、7/22より再開。
特定健診・特定保健指導	23年12月～23年12月	例年、健診は5月実施であるが12月に変更。特定健診に併せて被災者健診を実施。2月に結果説明会。 特定保健指導は、実績なし。
後期高齢者健康診査	23年12月～23年12月	特定健診と同日程で実施。
成人病検診 (がん検診、女性健診、結核検診等)	23年11月～24年1月	当初の日程を変更しての実施。 11月：胃がん(179人) 12月：前立腺がん(553人) 肺がん・結核(1848人) 1月：腹部エコー(678人) 大腸がん(990人) 乳がん(265人) 子宮頸がん(186人) 骨粗鬆症(101人)
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教室等)	23年11月～23年1月	在宅の残っている地区等での栄養教室の実施。 4回実施。参加者96人。
地区健康相談	23年9月～24年3月	在宅の残っている地区等での健康相談を実施。 28回実施。参加者810人。
保健推進委員・食生活改善推進員の養成・育成	年 月～ 年 月	実施なし。
乳児相談	23年8月～24年3月	4か月児、7か月児は、8/8より再開。 12か月児は、10/17より再開。 2歳6か月児は、9/12より再開。
	年 月～ 年 月	

2 平成 24 年度の取組み予定について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施予定について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	主な内容（実施回数、実施内容等）
全戸訪問 (ローラー訪問)	24年6月～24年8月	全町民を対象にした保健師や看護師等の協力による心の健康アンケート調査の実施。
健康相談	24年4月～25年3月	予防協の健康相談の開催に併せて、町保健師も健康相談を実施予定。
栄養相談	年 月～ 年 月	
健康・栄養教室	24年4月～25年3月	「味の素」の支援による栄養教室の開催。月1回仮設住宅の集会所等を活用し、調理実習や栄養指導を行う。
※その他事業 について追記 願います。	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

(2) 市町村の通常事業として実施している次の事業の実施予定について、記載してください。

	実施時期	課題等
予防接種	24年4月～25年3月	4月より定期予防接種の実施。子宮頸がん等予防ワクチン促進事業の継続。
乳児健診	24年4月～25年3月	4月から隔月で3歳児健診(年6回)、5月から隔月で1歳6か月児健診(年6回)を実施。
特定健診・特定保健指導	24年5月～25年3月	5/14～5/27の13日間と11月～12月の間に追加健診の予定。保健指導は健診結果説明会後、実施予定。積極的支援は予防協への委託、動機付けは町保健師が実施。町外での受診にも対応。(集合契約)特定健診と同日程で実施。
後期高齢者健康診査	24年5月～25年3月	
成人病検診 (がん検診、女性健診、結核検診等)	24年5月～24年11月	5月：前立腺がん、肺がん・結核 6月：胃がん 9月：乳がん、子宮頸がん、骨粗鬆症 10月：大腸がん、腹部エコー 11月：未受診者対象の追加検診実施予定。
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教室等)	24年4月～25年3月	各地区において、栄養士が中心となって調理実習や栄養指導を実施予定。
地区健康相談	24年4月～25年3月	各地区において、保健師が中心となって集団での健康相談や指導、個別の健康相談を実施予定。
保健推進委員・食生活改善推進員の養成・育成	24年5月～25年2月	保健推進委員委嘱状交付式を4月に実施。研修会等は年2回程開催予定。食生活改善推進員の養成は、5月より10回コースで実施。
乳児相談	24年4月～25年3月	4か月児・7か月児相談は、毎月開催。12か月児相談は4月から隔月で開催(年6回)。2歳6か月児相談は5月から隔月で開催(年6回)。
事業に関して課題となることは、予防接種や乳児健診等は、町外で生活している児や親に対するフォローが十分に行えない点である。また、特定健診については町外でも受診出来るようになったが、がん検診についても対応できるように準備をすることが課題となっている。		

3 被災者に係る健康課題について

(1) 保健活動を通じて、被災者が健康面で一番困っていること、悩んでいること等、課題と感じていることについて記載してください。

今後の町の復興ビジョンが見えにくいことによる将来的な不安や仮設での不便な生活を強いられていることなど、震災前の生活から大きく変化したことが与える精神的な負担を強く感じている被災者が多くいると感じる。また、被災者自身が気づかない体の変調として高血圧等があげられる。

(2) 被災者に係る健康面の課題について、市町村としてどのように支援しようとしているか、またその支援について、支障となっていると思われることについて記載してください。

- ・心のアンケート調査を実施し、ハイリスク者を把握し継続的な関わりを行うことで、悪化を防ぐ。ただし、町の保健師だけでは調査を実施するだけのマンパワーが不足しているため、専門職の協力が必要となる。
- ・調査以外では、仮設団地や各地区での健康相談の充実、高血圧予防の取り組みを強化する。

4 応急仮設住宅入居者等の全戸訪問、栄養指導について

応急仮設住宅入居者等への全戸訪問、栄養指導等のために、保健師、栄養士等の派遣協力を希望する時期、必要人数について記載してください。

事業名	職種	時期	必要人数
応急仮設住宅入居者等の全戸訪問	保健師 看護師 等	24年6月～8月	2か月で町民の把握が出来る人数。
応急仮設住宅入居者等への栄養指導	栄養士等	24年6月～10月	4か月で8回、24人
その他（特定健康診査等）			

5 平成24年度に実施予定の被災地健康支援事業のうち、県の予算措置を希望する事業について

平成24年4月13日付け健第139号で通知した平成24年東日本大震災津波被災地健康支援事業費補助交付申請の対象事業（被災地における健康支援に係る保健師等人材確保支援事業、被災者特別健診等補助事業、健診受診環境整備補助事業）以外で、被災者の健康支援のために実施予定の事業のうち、県からの補助等を希望する事業について記載してください。

なお、事業の選定にあたっては、別添「介護基盤緊急整備等臨時特例基金管理運営要領（平成23年12月2日付け健発1202第3号及び老発1202第1号厚生労働省健康局長及び老健局長通知）の別記3『被災地健康支援事業』を参考としてください。

事業名	事業の概要	事業費（概算）	
		総額	経費の内訳（節）

- ※1 貴市町村の予算措置の有無にかかわらず、取組予定のある場合は記載願います。
- ※2 県の予算措置の検討を行いますので、事業費（概算）、事業概要は必ず記載願います。
- ※3 「事業概要」欄には、実施予定時期を記載願います。

東日本大震災津波による被災者を対象とした健康支援活動について

市町村名 宮古市

1 平成23年度の取組状況について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施状況について記載してください。(※可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	実施回数	参加人数等(人)	主な内容
全戸訪問 (ローラー訪問)	H23年4月～ H24年3月	2360	18874	被災地域世帯、遺族世帯、仮設住宅を主に訪問。こころケアチームとの同行訪問。要支援者に対し、継続訪問を行う。
健康相談	H23年4月～ H24年3月	4045	18900	避難所避難者対象健康相談 応急仮設住宅入居者対象健康相談
栄養相談	H23年4月～ H24年3月	211	4744	妊産婦、乳幼児アンケートを調査し、必要は者に栄養指導を行う。
健康・栄養教室	H23年4月～ H24年3月	432	1946	こころのケアについての講話

(2) 市町村の通常業務として実施している次の事業の実施状況について、記載してください。

事業名	実施時期	実施内容等
予防接種	H23年4月～ H24年3月	個別接種(MR、三種混合、二種混合、BCG、日本脳炎、インフルエンザ、高齢者肺炎球菌、小児肺炎球菌、ヒブ予防接種) 集団接種(ポリオ)実施
乳児検診	H23年4月～ H24年3月	妊婦・乳児委託健康診査 妊婦14回 乳児4回(1ヶ月児、3ヶ月児、6ヶ月児、9ヶ月児)
特定健診・特定保健指導	H23年8月～ H23年11月	特定健診受診者数 3653人 特定保健指導未実施
後期高齢者健康診査	H23年8月～ H23年11月	後期高齢者健康診査受診者数 902人
成人病検診 (がん検診、女性健診、結核検診等)	H23年8月～ H23年12月	胃がん検診受診者数 2570人 大腸がん検診受診者数 3990人 肺がん検診受診者数 2452人 前立腺検診受診者数 1202人 乳がん検診受診者数 1364人 子宮がん検診受診者数 1360人 結核検診受診者数 8899人
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教室等)		一般健康教室 270回 2977人 歯周病健康教室 2回 727人 骨粗しょう症健康教室 28回 204人 病態別健康教室 63回 585人 その他、他機関からの依頼による健康教室 15回 336人 食育教室 24回 508人 妊婦対象バランスガイド普及事業 432回 432人 バランス食に関する栄養教室 30回 373人 骨粗しょう症予防教室 6回 46人 高血圧予防教室 22回 344人 肥満症予防教室 14回 292人 糖尿病予防教室 6回 49人 郷土料理普及教室 1回 26人 介護予防に関する栄養教室 13回 136人 介護職普及講習会 3階 45人 依頼による栄養教室 4回 95人
地区健康相談	H23年5月～ H24年3月	血圧測定、尿検査、骨密度測定、握力測定 こころの健康づくり講話 開催回数 278回 参加者数 2766人
保健推進委員・食生活改善推進員の養成・育成		別紙のとおり
幼児健診	H23年5月～ H24年3月	集団健康診査 1歳6ヶ月児 20回 369人 受診率94.4% 3歳児 25回 451人 受診率93.8%

2 平成24年度の取組み予定について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施状況について記載してください。(※可能は範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	主な内容(実施回数、実施内容等)
全戸訪問 (ローラー訪問)	H24年5月～ H25年3月	みなし仮設住宅、仮設住宅、被災地域の全戸訪問
健康相談	H24年4月～ H25年3月	仮設住宅集会所健康相談 280回
栄養相談	H24年4月～ H25年3月	仮設住宅集会所栄養相談 41回
健康・栄養教室	H24年4月～ H25年3月	仮設住宅集会所健康講座 280回(ストレスマネジメント、介護予防体操) 被災地域健康講座 2回 仮設住宅集会所男性の料理教室 8回(講話、調理実習、グループワーク) 仮設住宅集会所糖尿病予防教室(栄養) 33回(講話、試食) 仮設住宅集会所栄養講話 99回(骨粗しょう症、熱中症、高血圧予防)

(2) 市町村の通常業務として実施している次の事業の実施予定について、記載してください。

事業名	実施時期	課題等
予防接種	H24年4月～ H25年3月	震災前の接種率を維持
乳児健診	H24年4月～ H25年3月	震災前の受診率の維持
特定健診・特定 保健指導	H24年8月～ H24年11月	1 実施会場の確保と周知徹底 2 被災者の住所把握と健診の周知徹底 3 保健センターの被災により、活動拠点がないため特定保健指導等、 様々な活動の実施が困難
後期高齢者健 康診査	H24年8月～ H24年11月	1 実施会場の確保と周知徹底 2 被災者の住所把握と健診の周知徹底
成人病検診 (がん検診、女 性健診、結核検 診等)	H24年8月～ H24年12月	1 実施会場の確保と周知徹底 2 被災者の住所把握と健診の周知徹底
地区健康相談	H24年5月～ H25年3月	参加者の固定化
保健推進委員・ 食生活改善推 進員の養成・育 成	H24年4月～ H25年3月	別紙のとおり
幼児健診	H24年4月～ H25年3月	保健センターの被災により、活動拠点がないため再開できない健診がある

3 被災者に係る健康課題について

(1) 保健活動を通じて、被災者が健康面で一番困っていること、悩んでいること等、課題で感じていることについて記載してください。

市内の医療機関のほとんどが再開し、通常診療を行っています。介護保険分野においても、包括支援センターは通常事業を実施しており、事業所においても震災前と同様にサービスを提供できるようになっています。ヘルス部門においては、保健センターが被災し、活動拠点がないため全ての通常事業を再開することは困難ではあるものの、仮設住宅の全戸訪問や健康調査、関係機関とのネットワークを活用し、被災された方々の健康状況を把握してきました。その中で、感じることで、全般的には、住環境やコミュニティーの変化による生活のしづらさ、失職等による将来への不安を抱えつつも、一見穏やかに過ごされているという印象です。そのような日常の中で、少しずつ出てきている課題としては、コミュニティー喪失による孤立感、体を動かすことが少なくなったことによる身体症状の出現、高齢世帯、男性独居の方の栄養面の問題等です。現在、継続支援を要するケースは、生来、メンタル面の弱さを抱えている方が多く、不眠、不穏、閉じこもり、アルコール等の問題を抱えています。

(2) 被災者に係る健康面の課題について、市町村としてどのように支援しようとしているか、またその支援について、支障となっていると思われることについて記載してください。

メンタル面においては、今後、要支援者が増えていくという予想に基づき、仮設住宅、みなし仮設住宅、被災地域住民の全戸訪問を行い、情報を整備し、要支援者を継続的にフォローアップできる体制を整えていきます。また、地域や関係機関とのネットワークの強化を図り、要支援者の早期発見に努めるとともに、適切な介入が図られるよう、こころのケアシステムの構築を図っていきます。

身体面においては、生活不活発病予防のために、地域包括支援センター等の連携を強化し、1次および2次予防事業の充実を図る、生活習慣病予防に関しては、健診受診者数の増加を図り、特定保健指導等の通常事業を再開します。

上記事業の展開上、支障となっていることは、活動拠点の確保であり、現在、仮設の保健センターの設置に取り組んでいるところです。

4 応急仮設住宅入居者当の全戸訪問、栄養指導について

応急仮設住宅入居者等への全戸訪問、栄養指導等のために、保健師、栄養士等の派遣協力を希望する時期、必要人数について記載してください。

事業名	職 種	時 期	必要人数
応急仮設住宅入居者等の全戸訪問	栄養士 管理栄養士	11月～12月	2人
応急仮設住宅入居者等への栄養指導	栄養士 管理栄養士	8月、1月	2人
その他(特定健康診査)	無		
みなし仮設住宅全戸訪問	栄養士 管理栄養士	5月、6月	1人
被災地域居住世帯訪問	栄養士 管理栄養士	9月、10月、2月	2人

5 平成24年度に実施予定の被災地健康支援事業のうち、県の予算措置を希望する事業について

平成24年4月 日健第40号で通知した平成24年東日本大震災津波被災地健康支援事業費補助交付申請の対象事業(被災地における健康支援に係る保健師等人材確保支援事業、被災者特別健診等補助事業、健診受診環境整備補助事業)以外で、被災者の健康支援のために実施予定の事業のうち、県からの補助等を希望する事業について記載してください。

なお、事業の選定にあたっては、別添「介護基盤緊急整備等臨時特例基金管理運営要領(平成23年12月2日付け健発1202第3号及び老発1202第1号厚生労働省健康局長及び老健局長通知)の別記3「被災地健康支援事業」を参考としてください。

事業名	事業の概要	事業費(概算)	
		総 額	経費の内訳
無		千円	千円

※1 貴市町村の予算措置の有無にかかわらず、取組予定のある場合は記載願います。

※2 県の予算措置の検討を行いますので、事業費(概算)、事業概算は必ず記載願います。

※3 「事業概要」欄には、実施予定時期を記載願います。

東日本大震災津波による被災者を対象とした健康支援活動について

1、平成23年度の取組状況について（食生活改善推進員の養成・育成）

○食生活改善推進員の育成

＝宮古市協議会＝

54回

- ・会議 17回（協議会8回、宮古2回、田老5回、新里2回）
- ・地区研修会 8回（宮古6回、田老1回、新里1回）
- ・みやこっ子事前研修15回（宮古9回、田老2回、新里4回）
- ・事業 7回（宮古5回、田老1回、新里1回）
- ・依頼事業 4回（宮古3回、田老1回）
- ・その他 3回（支援物資仕分け）

＝川井協議会＝

30回

- ・会議 4回
- ・事業 13回
- ・その他 13回

2、24年度の取り組み予定について

＝宮古市協議会＝

56回

- ・会議 18回（協議会9回、宮古2回、田老5回、新里2回）
- ・地区研修会 8回（宮古6回、田老1回、新里1回）
- ・みやこっ子事前研修10回（宮古6回、田老2回、新里2回）
- ・事業 14回（宮古10回、田老2回、新里2回）
- ・依頼事業 3回
- ・その他 3回

＝川井協議会＝

21回

- ・会議 5回
- ・事業 13回
- ・その他 3回

東日本大震災津波による被災者を対象とした健康支援活動について

市町村名 山田町

1 平成 23 年度の取組み状況について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施状況について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	実施回数等	参加人数等	主な内容
全戸訪問 (ローラー訪問)	23年6～9月 23年11～12月	2回/年	1,919世帯	世帯員の健康状況調査 健康相談、健康情報の提供、 各種健康相談等の紹介、関 係機関・職員との連携
健康相談	23年6月～ 24年3月	延214回 (34仮設)	延2,316人	集会所等で行われた「カフェよりあいっこ」に参加された方々の健康相談や血圧測定を行った。
	23年9月～ 24年3月	延346回 (28仮設)	延1,170人	県健康相談事業（予防医学協会委託）による健康相談の実施。
仮設住宅食生活支援（訪問）	23年7月～ 24年3月	延152回	延547人	入居後の食生活状況把握訪問及び病態別栄養支援（避難所からの継続支援者含む） 75歳以上高齢者世帯等支援
健康・栄養教室	年月～ 年月	回	人	未実施
健康アップ体操教室	23年10月～ 24年3月	延82回 (24仮設)	延582人	高齢化率の高い仮設住宅や集会所等において、セラバンドを使用した体操を行った。
こころの健康づくりミニレクチャー	23年9月～ 23年12月	18回	162人	こころのケアチームの医師等によるミニレクチャーと個別相談を実施
	年月～ 年月	回	人	

(2) 市町村の通常業務として実施している次の事業の実施状況について、記載してください。

	実施時期	実施内容等
予防接種	23年5月～24年3月	ポリオ予防接種は集団で5月と10月に実施。その他の定期予防接種は町内開業医での個別接種。 23年8月より、小児肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン、子宮頸がんワクチン接種の公費助成を開始。
乳児健診	23年4月～24年3月	問診、身体計測、診察、歯科健診、歯科指導、保健指導、栄養指導
特定健診・特定保健指導	健診：23年9月5日～10月1日、11月14・15日 指導：24年1月～8月	身長・体重・腹囲測定、血液・尿検査等 初回面接、食事調査・指導、運動指導等
後期高齢者健康診査	23年9月5日～10月1日 11月14日、15日	身長・体重測定、血液・尿検査等
成人病検診 (がん検診、女性健診、結核検診等)	23年10月～24年月	10月：乳がん・子宮頸がん、結核検診 11月：肺がん・大腸がん検診 1、2月：胃がん・超音波検診
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教室等)	23年9月～24年3月	広報やまだおすすめ料理掲載(1回/月) 高齢者介護予防「コッ骨栄養教室・喜寿を祝う会」 骨粗しょう症予防コーナー おやこの食育教室(乳幼児親子) 食育出前授業(小学校・中学校・高校)
地区健康相談	年月～年月	未実施
保健推進委員・食生活改善推進員の養成・育成	23年8月～24年3月	・保健委員の活動は休止 ・食生活改善推進員育成事業 (役員会・打ち合せ会・中央研修会・滝沢村交流会・事業事前研修会・食育事業等協力) ・食生活改善推進員養成事業見合わせ
	年月～年月	
	年月～年月	

2 平成 24 年度の取組み予定について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施予定について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	主な内容（実施回数、実施内容等）
全戸訪問 (ローラー訪問)	24年5月～25年3月	健康状況の確認。不在者には健康調査票の提出により、健康状況を把握。要フォロー者には関係機関等に連絡をし、支援を継続する。年2回(5,6月 11,12月)
健康相談	24年4月～25年3月	集会所等で行われる「カフェよりあいつこ」に参加した方々の健康相談や血圧測定を行う。月1回 県健康相談事業(予防医学協会委託)による健康相談も実施あり。
仮設住宅等栄養・食生活支援	24年4月～25年3月	訪問による食生活状況の把握。仮設住宅・見なし仮設住宅居住者及び在宅被災者の内、65歳以上の世帯を対象とする。要支援者に対しては継続支援。
健康・栄養教室	24年11月～25年3月	訪問による食生活状況把握後、仮設住宅や町内集会所等において、要介護状態の防止のため「低栄養予防教室」を実施する。
いきいき健康運動教室	24年4月～24年6月	高齢化率の高い仮設住宅や集会所等において、セラバンドを使用した体操を行い、筋力の維持、低下防止をおこなう。
こころのケア事業	24年4月～25年3月	こころの相談室：毎週水曜日 宮古地域こころのケアセンターとの連携 地区健康教室でのミニレクチャー
	年 月～ 年 月	

(2) 市町村の通常事業として実施している次の事業の実施予定について、記載してください。

	実施時期	課題等
予防接種	24年4月～25年3月	定期予防接種の受診率の向上（100%を目指す） ヒブや肺炎球菌等任意予防接種の必要性についての普及啓発
乳幼児健診	24年4月～25年3月	う歯罹患率減少に対する取り組みが引き続き必要。
特定健診	24年9月、11月12,13日	被災後、健康の保持・増進という意識・意欲が低下している人が多く、受診率が低い。
特定保健指導	25年1月～26年8月	被災後、健康の保持・増進という意識・意欲が低下している人が多く、参加率が低い。
後期高齢者健康診査	24年9月、11月12,13日	健診の希望調査を実施しているが、これまで取りまとめを担っていた保健委員の活動が休止したため、希望調査票の回収率が低下した。
成人病検診 (がん検診、女性健診、結核検診等)	24年5月～24年11月	希望調査票の回収率の低下により、受診者の減少が危惧される。受診の啓発が課題。
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教室等)	24年5月～25年3月	学校での「食育出前授業」は学校側の協力体制も良く継続していく。おやこの食育教室について、参加しやすいような内容・日程等の検討が必要。 仮設住宅の集会所を使つての教室は、会場の確保が困難であり、全体的な調整が必要。非被災地区にて低栄養予防教室の実施。
健康教室（運動教室）	24年6月～24年2月	各地区及び中央教室の実施。会場の確保（被災地区において）。
生活習慣病予防講演会	24年11月	被災後、健康の保持・増進というところに意識が向かなくなっていることが課題。
地区健康相談	24年6月～24年2月	地区健康教室と併せて実施
保健推進委員・食生活改善推進員の養成・育成	年 月～ 年 月	<ul style="list-style-type: none"> ・保健委員活動は休止 ・食生活改善推進員育成活動について、昨年度と同様の内容にて実施。多くの推進員が被災者であり、心身ともにフォローも必要である。 ・食生活改善推進員養成事業は見合わせ

3 被災者に係る健康課題について

(1) 保健活動を通じて、被災者が健康面で一番困っていること、悩んでいること等、課題と感じていることについて記載してください。

- ・震災直後は高血圧等体調不良者が多かったが、現在は落ち着いてきている。また全体的に精神面は落ち着いてきているが、まだまだこころのケアが必要と思われる。特に若い世代で仕事がない人たちのストレスは多い状況である。
- ・仮設住宅ではコミュニティが出来てきているが、いろいろな集りに参加しないで閉じこもりがちな人がおり、日常生活活動が不活発な状態となっている。
- ・疾病を伴い、服薬中の住民が多い中、特に糖尿病を始め生活習慣病予防のための意識が薄く感じられる。特に1人暮らしの高齢者に対しては、調理技術の支援や病態別栄養の知識は今後も必要である。

(2) 被災者に係る健康面の課題について、市町村としてどのように支援しようとしているか、またその支援について、支障となっていると思われることについて記載してください。

- ・集団での教室には参加が難しい住民に対して、個別訪問となるが、マンパワーの確保が課題である。
- ・年2回のローラー訪問で状況を把握する。また、生活支援相談員たちとの連携により随時個別支援を行っていく。

4 応急仮設住宅入居者等の全戸訪問、栄養指導について

応急仮設住宅入居者等への全戸訪問、栄養指導等のために、保健師、栄養士等の派遣協力を希望する時期、必要人数について記載してください。

事業名	職種	時期	必要人数
応急仮設住宅入居者等の全戸訪問	保健師 看護師	5月	2人
応急仮設住宅入居者等への栄養指導	管理栄養士 栄養士	H24 5月中旬～ H25 3月まで	2人/週 2回/週（水・金）
その他（特定健康診査等）			

5 平成24年度に実施予定の被災地健康支援事業のうち、県の予算措置を希望する事業について

平成24年4月13日付け健第139号で通知した平成24年東日本大震災津波被災地健康支援事業費補助交付申請の対象事業（被災地における健康支援に係る保健師等人材確保支援事業、被災者特別健診等補助事業、健診受診環境整備補助事業）以外で、被災者の健康支援のために実施予定の事業のうち、県からの補助等を希望する事業について記載してください。

なお、事業の選定にあたっては、別添「介護基盤緊急整備等臨時特例基金管理運営要領（平成23年12月2日付け健発1202第3号及び老発1202第1号厚生労働省健康局長及び老健局長通知）の別記3『被災地健康支援事業』を参考としてください。

事業名	事業の概要	事業費（概算）	
		総額	経費の内訳（節）
		千円	千円

- ※1 貴市町村の予算措置の有無にかかわらず、取組予定のある場合は記載願います。
- ※2 県の予算措置の検討を行いますので、事業費（概算）、事業概要は必ず記載願います。
- ※3 「事業概要」欄には、実施予定時期を記載願います。

東日本大震災津波による被災者を対象とした健康支援活動について

市町村名 岩 泉 町

1 平成 23 年度の取組み状況について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施状況について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	実施回数等	参加人数等	主な内容
全戸訪問 (ローラー訪問)	平成 23年6月～ 24年2月	3 回/年	延べ584世帯	保健師、栄養士、歯科衛生士による訪問。健康状況、病院受診状況、栄養・口腔衛生等の把握
健康相談	平成 23年6月～ 24年2月	25 回	257人	岩泉・小本・小成団地等で血圧測定、介護予防事業と併せて実施
栄養相談	平成 23年6月～ 24年2月	2 回	22人	全戸訪問と併せて実施。野菜不足、食欲不振等への相談及び簡単レシピの配布
健康・栄養教室	平成 23年10月～ 24年2月	3 回	54人	医師による「生活習慣病予防」の講話。介護予防事業と併せて栄養士が実施。生活習慣病予防、バランス弁当、簡単レシピ配布する。
心のケア	平成 23年4月～ 24年2月	9 回	188人	仮設団地集会所で「心のケアチーム」による講話と個別相談。ご遺族の家庭訪問を実施
	年 月～ 年 月	回	人	
	年 月～ 年 月	回	人	

(2) 市町村の通常業務として実施している次の事業の実施状況について、記載してください。

	実施時期	実施内容等
予防接種	23年5月～24年3月	病院に委託して実施。定期（ポリオ・BCG・三種混合・麻疹・日本脳炎・二種混合・インフルエンザ）任意（ヒブ・肺炎球菌・子宮頸がんワクチン）
乳児健診	23年5月～24年3月	3～12か月児を対象に済生会病院及び保健センターで実施。
特定健診・特定保健指導	23年7月～24年3月	保健センター及び各支所、公民館等で、がん検診と併せて実施。 保健指導は、個別と集団指導を実施
後期高齢者健康診査	23年7月～23年11月	保健センター及び各支所、公民館等で、特定健診・がん検診と併せて実施。
成人病検診 （がん検診、女性健診、結核検診等）	23年5月～23年11月	保健センター及び各支所、公民館等で子宮・乳・胃・大腸・肺・前立腺がん検診、肺結核検診を実施。
健康教室 （栄養教室、ヘルシー教室等）	24年1月～24年2月	介護予防事業と併せて健康講話を実施。豆腐作り、味噌作り教室、各学校において郷土食講習会を実施。
地区健康相談	23年5月～24年3月	保健センター及び各支所、公民館等で血圧測定と併せて実施。
保健推進委員・食生活改善推進員の養成・育成	23年5月～24年3月	食生活改善推進員養成講座を実施し7名養成。各事業や研修会等における育成を行う。
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

2 平成 24 年度の取組み予定について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施予定について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	主な内容（実施回数、実施内容等）
全戸訪問 (ローラー訪問)	24年8月～25年3月	仮設住宅及び自宅に戻った被災者宅の訪問。 保健師、栄養士、歯科衛生士により健康状況等の把握を行う。年間2回予定（8月、2月）
健康相談	24年4月～25年3月	仮設団地集会所等で毎月介護予防事業と併せて実施予定。年間40回予定。
栄養相談	24年8月～25年3月	全戸訪問に併せて栄養相談を行う予定。
健康・栄養教室	24年7月～25年3月	仮設団地集会所及び被災地区において減塩料理教室を実施予定。年間3回予定（7月、11月、2月）
心のケア	24年6月～25年3月	地域心のケアセンターとの連携事業。 仮設団地集会所 3 か所での講話及び個別相談を実施予定。年間4回予定。
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

(2) 市町村の通常事業として実施している次の事業の実施予定について、記載してください。

	実施時期	課題等
予防接種	24年4月～25年3月	被災地区の開業医が閉院したことで協力医師不足である。
乳児健診	24年4月～25年3月	
特定健診・特定保健指導	24年7月～25年3月	
後期高齢者健康診査	24年7月～25年3月	
成人病検診 (がん検診、女性健診、 結核検診等)	24年5月～24年11月	
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教 室等)	24年4月～25年3月	
地区健康相談	24年4月～25年3月	
保健推進委員・食生活改 善推進員の養成・育成	24年4月～25年3月	仮設住宅や被災地区での活動を展開する 場合の被災された委員への配慮が必要 である。
精神保健福祉事業	24年4月～25年3月	
	年 月～ 年 月	

3 被災者に係る健康課題について

(1) 保健活動を通じて、被災者が健康面で一番困っていること、悩んでいること等、課題と感じていることについて記載してください。

就職したり、畑仕事に出かける人等が見られ少ずつ前進している半面、個別に、関わると、1年経過しても浅い眠りで不眠を訴える被災者が多く見られる。また、被災直後から血圧が高くなった方が、治療に結びついても高い状態が継続している高血圧問題。また、失業した男性が先の見えない生活で毎日飲酒をして外に出かけない閉じこもり問題、被災者を受け入れている家族側にストレス等からくる健康被害が発生している等の問題が見られています。

(2) 被災者に係る健康面の課題について、市町村としてどのように支援しようとしているか、またその支援について、支障となっていると思われることについて記載してください。

被災地区を専任で担当する保健師が1名配属となる。
全戸訪問は、健康推進室と包括で協力して行うこととなるが、通常業務との同時進行が可能であるか、マンパワー不足の課題である。個別の健康問題には、専任の保健師により随時関わりを行いながら、地域全体の健康面の課題解決につなげていきたい。また、社会福祉協議会の生活支援相談員との連携を充実し、フォロワー者の支援を行っていきたい。

4 応急仮設住宅入居者等の全戸訪問、栄養指導について

応急仮設住宅入居者等への全戸訪問、栄養指導等のために、保健師、栄養士等の派遣協力を希望する時期、必要人数について記載してください。

事業名	職種	時期	必要人数
応急仮設住宅入居者等の全戸訪問			
応急仮設住宅入居者等への栄養指導			
その他（特定健康診査等）			

5 平成 24 年度に実施予定の被災地健康支援事業のうち、県の予算措置を希望する事業について

平成 24 年 4 月 13 日付け健第 139 号で通知した平成 24 年東日本大震災津波被災地健康支援事業費補助交付申請の対象事業（被災地における健康支援に係る保健師等人材確保支援事業、被災者特別健診等補助事業、健診受診環境整備補助事業）以外で、被災者の健康支援のために実施予定の事業のうち、県からの補助等を希望する事業について記載してください。

なお、事業の選定にあたっては、別添「介護基盤緊急整備等臨時特例基金管理運営要領（平成 23 年 12 月 2 日付け健発 1202 第 3 号及び老発 1202 第 1 号厚生労働省健康局長及び老健局長通知）の別記 3『被災地健康支援事業』を参考としてください。

事業名	事業の概要	事業費（概算）	
		総額	経費の内訳（節）
		千円	千円

- ※ 1 貴市町村の予算措置の有無にかかわらず、取組予定のある場合は記載願います。
- ※ 2 県の予算措置の検討を行いますので、事業費（概算）、事業概要は必ず記載願います。
- ※ 3 「事業概要」欄には、実施予定時期を記載願います。

東日本大震災津波による被災者を対象とした健康支援活動について

市町村名 田野畑村

1 平成 23 年度の取組み状況について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施状況について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	実施回数等	参加人数等	主な内容
全戸訪問 (ローラー訪問)	平成 23年 7月～ 24年 3月	2 回/年	155 世帯	保健師と栄養士の同行訪問 ・心身の健康状態について ・食事バランス、減塩について ・血圧・体重測定、塩分測定
健康相談	23年 8月～ 24年 3月	5 回	50 人	・衛生講話、体操 ・血圧測定、個別健康相談 (健康・栄養教室と同時実施) ・健診結果説明等
栄養相談	23年 8月～ 24年 3月	6 回	50 人	・栄養士による講話 (健康・栄養教室と同時実施)
健康・栄養教室	23年 8月～ 24年 3月	6 回	55 人	・健康講話 ・健康体操 ・調理実習
※その他事業 について追記 願います。	年 月～ 年 月	回	人	
介護予防教室	23年 8月～ 24年 3月	7 回	67 人	・介護予防講話 ・レクリエーション ・体操
	年 月～ 年 月	回	人	

(2) 市町村の通常業務として実施している次の事業の実施状況について、記載してください。)

	実施時期	実施内容等
予防接種	H23年4月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・定期予防接種（H23年4月～） ・任意予防接種（H23年8月～） ・ヒブ、肺炎球菌、子宮頸がん予防等
乳児健診	H23年5月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・3・6・9・12カ月健診 ・医科・歯科診察 保健・栄養指導 ・身体測定等
特定健診・特定保健指導	H23年12月～ 24年3月	
後期高齢者健康診査	H23年12月～ 23年12月	
成人病検診 （がん検診、女性健診、 結核検診等）	H23年11月～ 24年1月	
健康教室 （栄養教室、ヘルシー教 室等）	H24年2月～24年3月	
地区健康相談	H24年2月～24年3月	
保健推進委員・食生活改 善推進員の養成・育成	H23年12月～ 年 月	・食生活改善推進員養成講座参加者を 広報等で募集したが応募者無し
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

2 平成 24 年度の取組み予定について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施予定について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	主な内容 (実施回数、実施内容等)
全戸訪問 (ローラー訪問)	H24年4月～25年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師・栄養士による全戸訪問 (2回/年) ・心身の健康状態及び栄養状態の把握 ・こころ・熱中症・食中毒・インフルエンザ等予防
健康相談	H24年5月～25年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・栄養教室開催と同時実施 ・健診結果説明会における個別健康相談
栄養相談	H24年4月～25年3月	同上
健康・栄養教室	H24年4月～25年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教室 (予防医学協会による健康講話・体操等) (12回/年) ・栄養教室 (村栄養士による料理教室 2回/月程度)
※その他事業 について追記 願います。	年 月～ 年 月	
介護予防教室	H24年5月～25年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・講話 (運動機能・低栄養・口腔機能・ひきこもり予防) ・レクリエーション、体操等 <p style="text-align: right;">(1回/月)</p>
	年 月～ 年 月	

(2) 市町村の通常事業として実施している次の事業の実施予定について、記載してください。

	実施時期	課題等
予防接種	H24年4月～25年3月	・定期予防接種の実施 ・任意予防接種の実施
乳児健診	H24年4月～25年3月	・3・6・9・12ヵ月健診(6回/年)
特定健診・特定保健指導	H24年10月～ 25年3月	
後期高齢者健康診査	H24年10月～ 年 月	
成人病検診 (がん検診、女性健診、 結核検診等)	H24年7月～ 24年12月	
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教 室等)	H24年4月～25年3月	
地区健康相談	H24年4月～25年3月	
保健推進委員・食生活改 善推進員の養成・育成	年 月～ 年 月	・食改善推進員養成講座：未定 ・保健推進員：未設置
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

3 被災者に係る健康課題について

(1) 保健活動を通じて、被災者が健康面で一番困っていること、悩んでいること等、課題と感じていることについて記載してください。

○血圧が高い

- ・健康相談、家庭訪問時測定すると高血圧の方が多
- ・塩分測定を味噌汁や食事調査で行ってみると塩分量は少ない方が多

(2) 被災者に係る健康面の課題について、市町村としてどのように支援しようとしているか、またその支援について、支障となっていると思われることについて記載してください。

○高血圧の支援

- ・健康教室による知識の普及啓発
- ・個別健康相談(保健師、栄養士)
- ・村医療機関との連携(高血圧者への受診勧奨)

4 応急仮設住宅入居者等の全戸訪問、栄養指導について

応急仮設住宅入居者等への全戸訪問、栄養指導等のために、保健師、栄養士等の派遣協力を希望する時期、必要人数について記載してください。 【希望なし】

事業名	職種	時期	必要人数
応急仮設住宅入居者等の全戸訪問			
応急仮設住宅入居者等への栄養指導			
その他（特定健康診査等）			

5 平成 24 年度に実施予定の被災地健康支援事業のうち、県の予算措置を希望する事業について

平成 24 年 4 月 13 日付け健第 139 号で通知した平成 24 年東日本大震災津波被災地健康支援事業費補助交付申請の対象事業（被災地における健康支援に係る保健師等人材確保支援事業、被災者特別健診等補助事業、健診受診環境整備補助事業）以外で、被災者の健康支援のために実施予定の事業のうち、県からの補助等を希望する事業について記載してください。

なお、事業の選定にあたっては、別添「介護基盤緊急整備等臨時特例基金管理運営要領（平成 23 年 12 月 2 日付け健発 1202 第 3 号及び老発 1202 第 1 号厚生労働省健康局長及び老健局長通知）の別記 3『被災地健康支援事業』を参考としてください。

【希望なし】

事業名	事業の概要	事業費（概算）	
		総額	経費の内訳（節）
		千円	千円

- ※ 1 貴市町村の予算措置の有無にかかわらず、取組予定のある場合は記載願います。
- ※ 2 県の予算措置の検討を行いますので、事業費（概算）、事業概要は必ず記載願います。
- ※ 3 「事業概要」欄には、実施予定時期を記載願います。

東日本大震災津波による被災者を対象とした健康支援活動について

市町村名 久慈市

1 平成 23 年度の取組み状況について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施状況について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	実施回数等	参加人数等	主な内容
全戸訪問 (ローラー訪問)	23年7月～ 年12月	1回/年	688世帯	海沿いの地区を対象に家庭訪問による健康チェックを実施
健康相談	23年9月～ 24年3月	37回	448人	被災地区サロン ・ 個別健康相談(血圧測定、生活機能チェック) ・ 参加者交流会(語り合い)
栄養相談	年 月～ 年 月	回	人	
健康・栄養教室	23年8月～ 年11月	2回	23人	災害時栄養改善支援事業 (県との共催事業) バランス弁当の配布および健康相談
ボランティア団体「ここからの会」による被災者相談	24年1月～ 24年3月	12回	22人	・ 傾聴および健康相談
被災地区サロンにおけるおやつまたは食事の提供	23年1月～ 24年3月	30回	228人	・ 食生活改善推進員による「バランス食の提供または手作りおやつ」の提供
	年 月～ 年 月	回	人	

(2) 市町村の通常業務として実施している次の事業の実施状況について、記載してください。

	実施時期	実施内容等
予防接種	23年4月～24年3月	定期接種：BCG、三種混合（DPT）、二種混合（DT）、ポリオ、日本脳炎、麻しん風しん（MR） 任意接種：小児用肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がん（HPV）
乳児健診	23年4月～24年3月	平成23年3月分の健診、相談は4月に実施。 4～5か月児相談、6か月児健診、1歳児相談、1歳半健診、3歳児健診
特定健診・特定保健指導	23年4月～24年3月	特定健診 特定保健指導
後期高齢者健康診査	23年10月～24年3月	75歳以上の後期高齢者加入者 ※岩手県後期高齢者広域連合からの委託事務
成人病検診 （がん検診、女性健診、結核検診等）	23年9月～24年3月	40歳以上：肺がん、胃がん、大腸がん、前立腺がん 65歳以上：結核 20歳以上の女性：子宮がん 40歳以上の女性：乳がん
健康教室 （栄養教室、ヘルシー教室等）	23年7月～24年3月	生活習慣病予防教室
地区健康相談	23年5月～24年3月	災害関係の内容をいれて通常どおり実施。
保健推進委員・食生活改善推進員の養成・育成	23年5月～24年3月	総会、役員会 研修会
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

2 平成 24 年度の取組み予定について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施予定について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	主な内容（実施回数、実施内容等）
全戸訪問 (ローラー訪問)	24年6月～24年9月	被災地区(全壊、半壊、一部損壊)の健康チェック1回 その後は、必要に応じ継続フォロー
健康相談	24年4月～25年3月	被災地区サロン活動 10箇所 1～2ヶ月に1回 個別相談、健康チェック、栄養等について
栄養相談	24年7月～24年8月	栄養相談のためのアンケート調査および栄養相談 対象：サロン参加者 10箇所
健康・栄養教室	24年7月～25年3月	生活習慣病予防教室
ボランティア団体「ここからの会」による被災者相談	24年4月～25年3月	1箇所 月2回
被災地サロンにおけるおやつまたは食事の提供	24年4月～25年3月	11箇所 1～2ヶ月に1回
	年 月～ 年 月	

(2) 市町村の通常事業として実施している次の事業の実施予定について、記載してください。

☆被災者の課題

	実施時期	課題等(被災者に限らない)
予防接種	24年4月～25年3月	予防接種法改正による新たな定期接種となるワクチンの事務事業の見直し
乳児健診	24年4月～25年3月	要フォロー者対応
特定健診・特定保健指導	24年4月～25年3月	受診率向上対策
後期高齢者健康診査	24年10月～25年3月	受診率の向上対策、事業の啓発活動
成人病検診 (がん検診、女性健診、結核検診等)	24年9月～25年3月	受診率の向上対策、事業の啓発活動
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教室等)	24年4～25年3月	教室の成果
地区健康相談	24年6月～25年3月	☆他地区から来た被災者の情報不足
保健推進委員・食生活改善推進員の養成・育成	24年4月～25年3月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

3 被災者に係る健康課題について

(1) 保健活動を通じて、被災者が健康面で一番困っていること、悩んでいること等、課題と感じていることについて記載してください。

被災者は、時間、日にちの経過とともに、時期々により、いろいろな課題がでてくることから経過をみながら複数回の訪問等が必要である。

特に、海沿いで実際波を見た方たちのケアは長期にわたっての支援が必要と考えている。

(2) 被災者に係る健康面の課題について、市町村としてどのように支援しようとしているか、またその支援について、支障となっていると思われることについて記載してください。

・被災地においてサロンを実施し個別のケアおよび集団の絆の確認をする。

・健康チェックにより、心理面、身体面、生活面の悩みを伺い、必要なところにつなげて解決または継続的なフォローを行なう。

これらのためには、訪問等行なう人材が必要と考え、昨年9月から専門の看護師を雇用して実施している。被災関係の専門的な知識を得る機会も無いままのスタートとなっており、研修の必要性を感じてる。

今後は県のこころのケアセンターと連携をとりながらすすめていきたい。

4 応急仮設住宅入居者等の全戸訪問、栄養指導について

応急仮設住宅入居者等への全戸訪問、栄養指導等のために、保健師、栄養士等の派遣協力を希望する時期、必要人数について記載してください。

事業名	職種	時期	必要人数
応急仮設住宅入居者等の全戸訪問	保健師	6月～9月	1人(こころのケアセンターの協力を考えている)
応急仮設住宅入居者等への栄養指導			
その他(特定健康診査等)			

5 平成24年度に実施予定の被災地健康支援事業のうち、県の予算措置を希望する事業について

平成24年4月13日付け健第139号で通知した平成24年東日本大震災津波被災地健康支援事業費補助交付申請の対象事業(被災地における健康支援に係る保健師等人材確保支援事業、被災者特別健診等補助事業、健診受診環境整備補助事業)以外で、被災者の健康支援のために実施予定の事業のうち、県からの補助等を希望する事業について記載してください。

なお、事業の選定にあたっては、別添「介護基盤緊急整備等臨時特例基金管理運営要領(平成23年12月2日付け健発1202第3号及び老発1202第1号厚生労働省健康局長及び老健局長通知)の別記3『被災地健康支援事業』を参考としてください。

事業名	事業の概要	事業費(概算)	
		総額	経費の内訳(節)
		千円	千円

- ※1 貴市町村の予算措置の有無にかかわらず、取組予定のある場合は記載願います。
- ※2 県の予算措置の検討を行いますので、事業費(概算)、事業概要は必ず記載願います。
- ※3 「事業概要」欄には、実施予定時期を記載願います。

東日本大震災津波による被災者を対象とした健康支援活動について

市町村名 普代村

1 平成 23 年度の取組み状況について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施状況について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	実施回数等	参加人数等	主な内容
全戸訪問 (ローラー訪問)	年 月～ 年 月	回/年	世帯	
健康相談	年 月～ 年 月	回	人	
栄養相談	年 月～ 年 月	回	人	
健康・栄養教室	年 月～ 年 月	回	人	
※その他事業 について追記 願います。	年 月～ 年 月	回	人	
	年 月～ 年 月	回	人	
	年 月～ 年 月	回	人	

(2) 市町村の通常業務として実施している次の事業の実施状況について、記載してください。)

	実施時期	実施内容等
予防接種	23年4月～24年3月	・普代村国保診療所にて、予定どおり実施。
乳児健診	23年5月～24年3月	・普代村保健センターにて、予定どおり実施。
特定健診・特定保健指導	23年10月～24年3月	・普代村保健センターにて、予定どおり実施。
後期高齢者健康診査	23年9月～24年1月	・普代村保健センターにて、予定どおり実施。
成人病検診 (がん検診、女性健診、 結核検診等)	23年6月～24年9月	・普代村保健センターにて、予定どおり実施。
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教 室等)	23年6月～24年3月	・普代村保健センター、各地区公民館 等にて、予定どおり実施。
地区健康相談	23年5月～24年4月	・普代村保健センター、各地区公民館 等にて、予定どおり実施。
保健推進委員・食生活改 善推進員の養成・育成	23年4月～24年3月	・普代村保健センターにて、予定どおり 実施。
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

2 平成 24 年度の取組み予定について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施予定について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	主な内容（実施回数、実施内容等）
全戸訪問 (ローラー訪問)	年 月～ 年 月	
健康相談	年 月～ 年 月	
栄養相談	年 月～ 年 月	
健康・栄養教室	年 月～ 年 月	
※その他事業 について追記 願います。	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

(2) 市町村の通常事業として実施している次の事業の実施予定について、記載してください。

	実施時期	課題等
予防接種	23年4月～24年3月	
乳児健診	23年5月～24年3月	
特定健診・特定保健指導	23年10月～24年3月	・受診率アップのための取組み
後期高齢者健康診査	23年9月～24年1月	
成人病検診 (がん検診、女性健診、 結核検診等)	23年6月～24年9月	
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教 室等)	23年6月～24年3月	
地区健康相談	23年5月～24年4月	
保健推進委員・食生活改 善推進員の養成・育成	23年4月～24年3月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

3 被災者に係る健康課題について

(1) 保健活動を通じて、被災者が健康面で一番困っていること、悩んでいること等、課題と感じていることについて記載してください。

・通常の保健活動を行っております。

(2) 被災者に係る健康面の課題について、市町村としてどのように支援しようとしているか、またその支援について、支障となっていると思われることについて記載してください。

・通常の保健活動を行っております。

4 応急仮設住宅入居者等の全戸訪問、栄養指導について

応急仮設住宅入居者等への全戸訪問、栄養指導等のために、保健師、栄養士等の派遣協力を希望する時期、必要人数について記載してください。

事業名	職種	時期	必要人数
応急仮設住宅入居者等の全戸訪問			
応急仮設住宅入居者等への栄養指導			
その他（特定健康診査等）			

5 平成 24 年度に実施予定の被災地健康支援事業のうち、県の予算措置を希望する事業について

平成 24 年 4 月 13 日付け健第 139 号で通知した平成 24 年東日本大震災津波被災地健康支援事業費補助交付申請の対象事業（被災地における健康支援に係る保健師等人材確保支援事業、被災者特別健診等補助事業、健診受診環境整備補助事業）以外で、被災者の健康支援のために実施予定の事業のうち、県からの補助等を希望する事業について記載してください。

なお、事業の選定にあたっては、別添「介護基盤緊急整備等臨時特例基金管理運営要領（平成 23 年 12 月 2 日付け健発 1202 第 3 号及び老発 1202 第 1 号厚生労働省健康局長及び老健局長通知）の別記 3『被災地健康支援事業』を参考としてください。

事業名	事業の概要	事業費（概算）	
		総額	経費の内訳（節）
被災者特別健診等補助事業	（実施日） 9 月 9 日～ 11 日	千円 3,088	千円 （13 節） 3,089

- ※ 1 貴市町村の予算措置の有無にかかわらず、取組予定のある場合は記載願います。
- ※ 2 県の予算措置の検討を行いますので、事業費（概算）、事業概要は必ず記載願います。
- ※ 3 「事業概要」欄には、実施予定時期を記載願います。

東日本大震災津波による被災者を対象とした健康支援活動について

市町村名 洋野町

1 平成 23 年度の取組み状況について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施状況について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	実施回数等	参加人数等	主な内容
全戸訪問 (ローラー訪問)	23年3月～ 23年4月	6回/年	301世帯	・被災地区の全戸訪問
健康相談	23年4月～ 24年3月	18回	241人	・被災地区の健康相談やふれあいサロン交流会等
栄養相談	23年3月～ 年月	1回	60人	・避難所での栄養調査等
健康・栄養教室	23年12月～ 年月	2回	22人	・栄養講習会(バランス食) ・ヘルシーレストランへの招待
※その他事業 について追記 願います。	23年5月～ 11月	18回	30人	・集団検診と合わせてこころの健康相談とうつクリーニングを実施。被災地のハイリスク者30名について家庭訪問等を実施した。
	年月～ 年月	回	人	
	年月～ 年月	回	人	

(2) 市町村の通常業務として実施している次の事業の実施状況について、記載してください。

	実施時期	実施内容等
予防接種	23年4月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・定期予防接種 ・任意予防接種
乳児健診	23年4月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・3・6・9・1歳児健診 ・1歳6か月児健診 ・2歳児健診 ・3歳児健診
特定健診・特定保健指導	23年10月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診 ・特定保健指導 ・健診結果説明会
後期高齢者健康診査	23年10月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者健康診査 ・健診結果説明会
成人病検診 (がん検診、女性検診、 結核検診等)	23年10月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・各種がん検診 ・結核健診 ・結果の説明(訪問等)
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教 室等)	23年4月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養教室及び栄養指導 ・ヘルシーレストラン
地区健康相談	23年4月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいサロン ・各種健康教室時の相談等
保健推進委員・食生活改 善推進員の養成・育成	23年4月～24年3月	<ul style="list-style-type: none"> ・保健推進委員研修の開催等 ・食生活改善推進員研修等
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

2 平成24年度の取組み予定について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施予定について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	主な内容（実施回数、実施内容等）
全戸訪問 (ローラー訪問)	24年9月～ 年 月	・定期的家庭訪問（6か月ごと）
健康相談	24年4月～25年3月	・包括支援センターや社会福祉協議会と連携し、ふれあいサロンを充実させる。 ・医師や保健師による教育や相談を行う。
栄養相談	24年4月～25年3月	・地区の栄養講習会及び栄養相談の開催等
健康・栄養教室	24年4月～25年3月	・地区の栄養講習会及び栄養相談の開催等
※その他事業 について追記 願います。	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

(2) 市町村の通常事業として実施している次の事業の実施予定について、記載してください。

	実施時期	課題等
予防接種	24年4月～25年3月	
乳児健診	24年4月～25年3月	
特定健診・特定保健指導	24年10月～25年3月	
後期高齢者健康診査	24年10月～25年3月	
成人病検診 (がん検診、女性健診、 結核検診等)	24年4月～25年3月	
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教 室等)	24年4月～25年3月	
地区健康相談	24年4月～25年3月	
保健推進委員・食生活改 善推進員の養成・育成	24年4月～25年3月	
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

3 被災者に係る健康課題について

(1) 保健活動を通じて、被災者が健康面で一番困っていること、悩んでいること等、課題と感じていることについて記載してください。

洋野町では、27世帯が被災しておりますが、定期的家庭訪問を行いフォローしています。よくある相談は、仕事のことや仮設住宅に対する不安です。特に困ったというような相談はないようです。(仮設住宅入居者は3世帯、8名です)

(2) 被災者に係る健康面の課題について、市町村としてどのように支援しようとしているか、またその支援について、支障となっていると思われることについて記載してください。

・今後も継続的に訪問し、支援していきたいと思えます。

4 応急仮設住宅入居者等の全戸訪問、栄養指導について

応急仮設住宅入居者等への全戸訪問、栄養指導等のために、保健師、栄養士等の派遣協力を希望する時期、必要人数について記載してください。

事業名	職種	時期	必要人数
応急仮設住宅入居者等の全戸訪問			
応急仮設住宅入居者等への栄養指導			
その他（特定健康診査等）			

5 平成24年度に実施予定の被災地健康支援事業のうち、県の予算措置を希望する事業について

平成24年4月13日付け健第139号で通知した平成24年東日本大震災津波被災地健康支援事業費補助交付申請の対象事業（被災地における健康支援に係る保健師等人材確保支援事業、被災者特別健診等補助事業、健診受診環境整備補助事業）以外で、被災者の健康支援のために実施予定の事業のうち、県からの補助等を希望する事業について記載してください。

なお、事業の選定にあたっては、別添「介護基盤緊急整備等臨時特例基金管理運営要領（平成23年12月2日付け健発1202第3号及び老発1202第1号厚生労働省健康局長及び老健局長通知）の別記3『被災地健康支援事業』を参考としてください。

事業名	事業の概要	事業費（概算）	
		総額	経費の内訳（節）
		千円	千円

- ※1 貴市町村の予算措置の有無にかかわらず、取組予定のある場合は記載願います。
- ※2 県の予算措置の検討を行いますので、事業費（概算）、事業概要は必ず記載願います。
- ※3 「事業概要」欄には、実施予定時期を記載願います。

東日本大震災津波による被災者を対象とした健康支援活動について

市町村名 野田村

1 平成 23 年度の取組み状況について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施状況について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	実施回数等	参加人数等	主な内容
全戸訪問 (ローラー訪問)	① 23年3月か ② 23年6月	2回/年	全戸 480世帯	保健師等(心身、健康、生活での不安等、 (精神科医、Y-ジョブ、 医療心理士の同行もあり)
健康相談	23年5月～ 24年3月	22回	286人	保健師、看護師による 健康相談、並に10泊3 泊(2泊)傾聴活動等 (40名)
栄養相談	23年5月～ 24年3月	28回	28人	栄養士による、病態別 個別相談
健康・栄養教室	23年6月～ 24年2月	20回	455人	炊き出し等と合わせて、 実施。(食生活改善推進 協議会も参加)
23年健康 相談センター	23年4月～ 24年1月	48回	720人	23年健康に27名、 相談拠点として(毎月) 1回実施。
健康教育 講座	23年8月～ 24年2月	4回	275人	健康講座指導士による 個別相談、指導
健康教室 口腔	23年5月～ 24年2月	17回	209人	歯科医師、歯科衛生士 による個別相談、指導

(2) 市町村の通常業務として実施している次の事業の実施状況について、記載してください。

	実施時期	実施内容等
予防接種	23年4月~24年3月	定期予防接種、肺炎球菌、ヒブ、インフルエンザ、子宮頸がんワクチン
乳児健診	23年4月~24年3月	乳児・幼児健診、176ヶ月児・3才児健診、幼児歯科健診
特定健診・特定保健指導	23年11月~24年6月	個別、集団指導と組み合わせ実施
特定健診 後期高齢者健康診査	23年9月~24年1月	特定健診と大腸がん・肺がんと同時実施、若年者健診(18才~29才)
成人病検診 (がん検診、女性健診、結核検診等)	23年9月~24年1月	胃がん、乳がん、子宮がん、前立腺がん、腹部エコー
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教室等)	23年5月~24年3月	運動、栄養、こころの健康づくり、栄養指導等、認知症予防等
地区健康相談	23年5月~24年3月	社会福祉協議会等で実施、いきなりDと共催(2実施)
保健推進委員・食生活改善推進員の養成・育成	23年4月~24年3月	研修会、講習会、災害支援等
こころの健康健診	23年9月~23年9月 5日 10日	特定健診と合わせて行うスクリーニングを実施
	年 月 ~ 年 月	

2 平成24年度の取組み予定について

(1) 応急仮設住宅入居者等を対象とした健康相談等の健康支援活動の実施予定について記載してください。(※ 可能な範囲で記載してください。)

事業名	実施時期	主な内容 (実施回数、実施内容等)
全戸訪問 (ローラー訪問)	24年4月～25年6月	社会福祉協議会と連携する。
健康相談	24年4月～25年6月	仮設住宅集会所(1)と個別相談ととの継続。
栄養相談	24年4月～25年6月	栄養士(1)と個別相談等。
健康・栄養教室	24年4月～25年6月	炊事長(等)と合わせて継続。
24年3月の健康相談セッション	24年3月～25年3月	24年3月の健康相談セッション(1)と相談状況と(2)継続
仮設教育 運動	24年4月～25年3月	仮設運動指導士、理学療法士、作業療法士と連携する。
仮設教育 口腔	24年4月～25年3月	歯科医師、歯科衛生士と連携する。

(2) 市町村の通常事業として実施している次の事業の実施予定について、記載してください。

	実施時期	課題等
予防接種	年 月～ 年 月	平成23年度の内容及び 継続実施
乳児健診	年 月～ 年 月	
特定健診・特定保健指導	年 月～ 年 月	
後期高齢者健康診査	年 月～ 年 月	
成人病検診 (がん検診、女性健診、 結核検診等)	年 月～ 年 月	
健康教室 (栄養教室、ヘルシー教 室等)	年 月～ 年 月	
地区健康相談	年 月～ 年 月	
保健推進委員・食生活改 善推進員の養成・育成	年 月～ 年 月	
こころの健康相談	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

3 被災者に係る健康課題について

(1) 保健活動を通じて、被災者が健康面で一番困っていること、悩んでいること等、課題と感じていることについて記載してください。

生活を再建するまでに長期に時間を要し、生活の基盤(衣食住・仕事・ロビー等)が整わない状況で不安や悩みを伺っている。身心両面の健康維持が必要である。

- ① こころの健康面 (心配、悩み、不安、不眠等々)
- ② 体の健康面 (持病の悪化、痕傷、運動不足)
- ③ 介護(障害者、認知症等)

(2) 被災者に係る健康面の課題について、市町村としてどのように支援しようとしているか、またその支援について、支障となっていると思われることについて記載してください。

① こころの健康相談センターの継続 ② カンサクリニク(早期介入)
③ 特定健診の無料化

福祉 保健 医療の連携強化の継続

震災後、(年々通常業務に振りかへるため) 支援と撤退の両方必要

(あがりに2ヶ所、スタッフも一律削減が十分(と)現場も積極的に活動しやうとする。)

4 応急仮設住宅入居者等の全戸訪問、栄養指導について

応急仮設住宅入居者等への全戸訪問、栄養指導等のために、保健師、栄養士等の派遣協力を希望する時期、必要人数について記載してください。

事業名	職種	時期	必要人数
応急仮設住宅入居者等の全戸訪問			
応急仮設住宅入居者等への栄養指導			
その他（特定健康診査等）			

5 平成 24 年度に実施予定の被災地健康支援事業のうち、県の予算措置を希望する事業について

平成 24 年 4 月 日健第 40 号で通知した平成 24 年東日本大震災津波被災地健康支援事業費補助交付申請の対象事業（被災地における健康支援に係る保健師等人材確保支援事業、被災者特別健診等補助事業、健診受診環境整備補助事業）以外で、被災者の健康支援のために実施予定の事業のうち、県からの補助等を希望する事業について記載してください。

なお、事業の選定にあたっては、別添「介護基盤緊急整備等臨時特例基金管理運営要領（平成 23 年 12 月 2 日付け健発 1202 第 3 号及び老発 1202 第 1 号厚生労働省健康局長及び老健局長通知）の別記 3『被災地健康支援事業』を参考としてください。

事業名	事業の概要	事業費（概算）	
		総額	経費の内訳（節）
		千円	千円

※ 1 貴市町村の予算措置の有無にかかわらず、取組予定のある場合は記載願います。

※ 2 県の予算措置の検討を行いますので、事業費（概算）、事業概要は必ず記載願います。

※ 3 「事業概要」欄には、実施予定時期を記載願います。

